

事務事業名		たぬまふるさと祭り支援事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	1	地域の特色を活かした快適なまちづくり			事業区分	担当組織	担当部	産業文化部	担当課	商工・企業誘致課
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり				担当係	商工振興係	担当課長名	中里 勇	
	施策	2	まちなかの活性化と公共交通網の整備				新規事業・継続事業	継続事業			
	基本事業	2	地域市街地拠点(田沼駅・葛生駅周辺)の活性化の推進				実施計画事業・一般事業	一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名	市単独事業・国県補助事業	市単独事業			
	10591	一般	7	1	2	たぬまふるさと祭り支援事業	任意的事業・義務的事业	任意的事業			
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S51年度～ 年度		根拠法令 条例等	実施方法	直営				
						事業分類	支援事業				
						リーディングプロジェクト	該当なし				
						市長マニフェスト	該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)		平成27年度実績(平成27年度に行った主な活動内容)					
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		・たぬまふるさと祭り実行委員会(佐野市あそ商工会が事務局)が主催する「たぬまふるさと祭り」の活動を支援する事業である。 ・たぬまふるさと祭りは、平成25年度までは田沼中央公園を会場として7月末～8月上旬に開催していたが、平成26年度、平成27年度は田沼庁舎と市民病院の間に開通した市道を歩行者天国にして開催、ステージ演目、こども遊具、水合戦、どまんなか総おどり、打ち上げ花火などを実施 ・市の取り組みは、実行委員会に対する補助金支出、広報さへの記事掲載、ポスター及びチラシの各公共施設への配布(掲示依頼)、テレビ広報さでの情報掲載等を実施					
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)		たぬまふるさと祭り					
対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
【補助対象団体】たぬまふるさと祭り実行委員会		たぬまふるさと祭り開催日数	日	1	1	1	1
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)		賑わいのあるまちなかになっている。					
目的		財政支援及び広報支援を行うことで、まつり内容の充実化と円滑運営、来場者数の増加が図られる。					
成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
たぬまふるさと祭り来場者数		人	5,000	8,000	10,000	8,000	8,000
④結果(どのような結果に結びつきますか?)		上位成果指標					
イベントの参加人数		人	80,500	86,300	89,100	65,000	68,000

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円	850	850	850			
	地方債	千円						
	その他	千円	850	850				
	一般財源	千円			850	1,700	1,700	
	事業費計(A)	千円	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			補助金	1,700	補助金	1,700	補助金	1,700
人件費	人	1	1	1	1	1		
のべ業務時間	時間	70	70	70	70	70		
人件費計(B)	千円	272	276	273	273	273		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,972	1,976	1,973	1,973	1,973		

事務事業名	ためまふるさと祭り支援事業	担当部	産業文化部	担当課	商工・企業誘致課	担当係	商工振興係
-------	---------------	-----	-------	-----	----------	-----	-------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和51年に田沼町商工会青年部が「I LOVE TANUMA」を合言葉に、子供たちの心に残る夏まつりを開催したいとの趣旨で開催、年々各種事業を盛り込み開催している。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成26年度で38回を迎えたが、開始当初と比較して夏のイベントとして市民の間に定着している。 平成21年度から会場を田沼中央公園に移して実施 平成26年度から会場を田沼庁舎と市民病院の間の新道に移し歩行者天国にして実施
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	・来場者を増やす取り組みを検討すべきとの意見、会場を見直すべきではとの意見がある。 ・平成23年2月、補助金等交付検討委員会から「商店街の活性化、商業者に対する支援に貢献しているが、自主財源の確保により補助の減額は可能と考える。また、補助の交付先を明確にすべきである。」との提言を受けた。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	平成25年度より、祭りの内容を充実させ、来場者数の増加を図る目的で、初めての試みとして、祭りのフィナーレに打ち上げ花火を実施している。平成26年度からは祭りの会場を移し、新たに開通した市道を歩行者天国にして開催し、祭りのフィナーレの打ち上げ花火も規模を大きくして実施した。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	ためまふるさと祭りを財政面や広報面で支援することで、まつりの充実化や円滑運営に貢献することは、来場者数の増加につながり、まちなかの活性化に結びつくものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	委ねている	理由・改善案	事業主体はためまふるさと祭り実行委員会である。市としては、財政面及び広報活動の支援を実施しているが、まちなか活性化に資する事業のため、現状の関与は妥当なものである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	この事業は、財政支援及び広報支援を行うことで、まつり内容の充実化と円滑運営、来場者数の増加を図る目的で実施している事業のため、対象・意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	市は広報活動の支援をしており、広報さのへの記事掲載、テレビ広報さの、ポスター及びチラシの各公共施設への配布を行っているが、佐野地区、葛生地区の住民や市外の方に来ていただけるよう、市のHPを活用するなどして、より効果的な広報の在り方を検討することも必要である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名 田沼地区で開催される同規模・趣旨のまつりはない。 *類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費については、実行委員会に対する補助金のみである。実行委員会として財源確保や市に頼らない運営を実施しているため、現状では補助金削減は難しい。人件費は、実行委員会に対する補助金支出、広報活動のための業務所要時間であるが、最低限の時間のため、削減は難しい。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めると必要がない	理由・改善案	この事業の直接の受益者は、ためまふるさと祭り実行委員会であるが、間接的にはためまふるさと祭りに参加する市民である。そのため、受益者は特定されないため、受益者負担を求めると必要はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	ためまふるさと祭りが終了した場合、本事業も終了となる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1)今後の事務事業の方向性	(2)改革・改善による期待効果	(3)改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。	
*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	コスト	
佐野地区、葛生地区の住民や市外の方に来ていただけるよう、市のHPを活用するなどして、より効果的な広報の在り方を検討することも必要である。	削減 維持 増加	
	向上 ○	
	維持 ×	
	低下 × ×	